

広報

うわじまちくしょうぼう

第96号

宇和島地区消防本部
宇和島地区防火協会
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>



令和7年春季火災予防運動

令和7年3月1日(土)～3月7日(金)



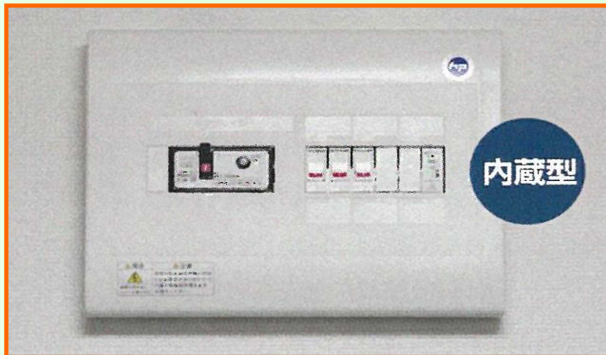
2024年度
全国統一防火標語

3月1日から7日まで春の火災予防運動が実施されます。令和5年の全国の住宅火災件数を見ると、12,112件となっており、令和4年から約700件増加した結果となっています。

また、ここ数年、揺れの強い地震が頻発しています。令和6年には全国で震度5弱以上の地震が28件発生しており、この数は過去5年で最も多い数になります。宇和島市においても令和6年4月17日に豊後水道地震が発生し、震度5強を観測しています。大地震の際は揺れが治まった後に火災も多発しており、東日本大震災時の原因が特定された火災のうち、54%は電気関係の火災と判明しています。近年の住宅はオール電化が進み、火災の不安が軽減したという社会の風潮がありますが、上記のような震災時には、火災発生の原因となってしまう可能性もあるため、住民の皆さまには電気機器への防火対策も考えていただければと思います。ここでは電気火災予防の一助となるブレーカー機器を紹介いたします。

電気火災対策には感震ブレーカーが効果的です。

感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感知した場合、電気を自動で遮断します。感震ブレーカーには分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプがあります。



分電盤内蔵型

分電盤に感振遮断機能が内蔵されており、揺れを感知し、ブレーカーを落とします。夜間避難を考慮し、すぐには遮断しないものもあります。



後付型

分電盤後付型

既設の分電盤に後から設置することができます。電気工事が必要となり、分電盤の種類によっては取り付けが不可能なものもあるため、確認が必要です。



差込型

埋込型

コンセントタイプ

地震を感知するとコンセントからの電気を遮断します。遮断されるのはコンセントに接続された機器のみです。差込型と埋込型があります。



パネ式

簡易タイプ

パネ式やおもり玉式があり、おもりの場合、おもりと主幹ブレーカーを紐で繋ぎ、地震の揺れでおもりが落ちることにより主幹ブレーカーを切ります。

広域消防発足以降
最小件数

令和6年 火災・救急 速報



過去最多！！

火災 25 件・負傷者 6 名

令和6年中に発生した火災は25件で、前年の39件より14件の減少となっています。この件数は広域消防発足以来、最小の火災件数です。しかし、火災種別で見ると、建物火災が13件で例年と大差なく、全体の約52%を占めている状況です。

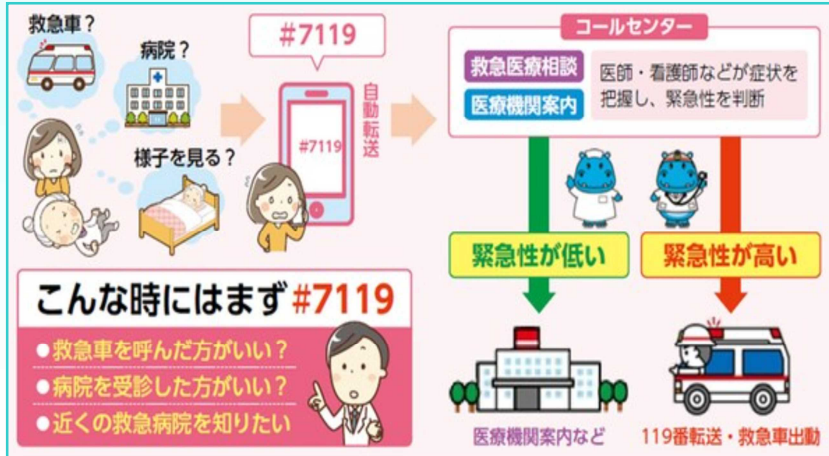
住宅用火災防犯機器は住宅火災を未然に防ぐ他、被害を最小限に留める役目を果たしてくれます。自身の身を守るため、防災製品の使用や防災機器の設置及び交換を実施し、火災予防に努めましょう。



救急出場 5,463 件

令和6年中の出場件数は5,463件、搬送人員は5,001人となっており、出場件数及び搬送人員は、前年に比べ、大きく増加し、過去最多を更新しました。救急車で搬送された人を傷病程度別に見ると、軽症が1,841人で全体の約37%となっています。救急車の台数には限りがあります。本当に必要な人が利用できるよう、適正利用にご協力ください。

また、救急車を呼ぶか迷ったときは、「#7119」に電話することで、救急電話相談を受けることができます。医師や看護師が電話口で傷病内容を聞き、適切なア



ドバイスを行ってください。愛媛県も24時間対応のため、活用してみてください。



ガストーチによる火災に注意！

キャンプの火起こしや家庭内でも手軽に使用でき、便利なガストーチですが、近年、粗悪な製品による火災ややけどなどの事故が多く発生しています。こうした製品による事故を防ぐため、令和7年2月から、ガストーチに対する規制が始まります。国の定める安全に関する基準に適合したガストーチは、「◇PSLPGマーク」が表示されます。

◇PSLPGマークとは？

液化石油ガスを燃料として使う製品のうち、事故の恐れが高い製品に表示されるものです。マークの表示がなければ、ガストーチの販売はできません。



使用時の注意点

- ① 極端に安価な製品や事業者不明の製品は購入しない。
- ② 本体に変形やひび割れ等がないか確認し使用する。
- ③ ポンペにしっかりと固定されていることを確認する。
- ④ ポンペを逆さま、または斜めにして点火しない。
- ⑤ 点火前にガス漏れがないことを確認して使用する。

宇和島城 防火訓練



1月26日は法隆寺金堂壁面が焼損した日にあたり、文化庁ではこの日を「文化財防火デー」と定めています。

これに合わせ、宇和島市においても1月29日(水)に宇和島城天守で防火訓練を行いました。シルバー人材センター職員と宇和島消防署職員が協力し、通報訓練、天守内にいる観光客の避難誘導訓練、屋外消火栓での放水訓練、水幕による天守火災防衛訓練を実施し、いつおこるかわからない火災から貴重な文化財を迅速に守るため、防火体制の連携強化の向上を図りました。

新車両導入！！

宇和島消防署に新たに消防ポンプ車と救急車が納入されました。



令和7年1月に圏域住民の方から救急車と救急資機材が寄付されました。これから地域住民の皆さまのために、活躍していきます。



令和7年1月から運用を開始した新消防7号車は、600ℓのスモールタンクがあり、狭隘地区や山火事でも活躍します。

